

## 令和3年度 第1回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

- 日時 令和3年7月12日（月）13時30分～15時00分
- 場所 弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室
- 出席者 内山委員、阿保委員、田澤委員、佐藤（陽）委員、佐藤（八）委員  
小田桐委員、藤岡委員、渡部委員、三橋委員、石塚委員、太田委員  
安東委員、米谷委員
- 欠席者 小館委員  
（委員14名のうち13名出席）
- 事務局 岩崎市民生活部長、福士環境課長、  
成田町田事業所長、山内環境課長補佐  
佐藤資源循環係長、成田廃棄物政策係長、  
白戸資源循環係主事、三上廃棄物政策係主事、齊藤廃棄物政策係主事

### ○内 容

#### 1 開 会（進行：山内環境課長補佐）

#### 2 部長挨拶

#### 3 会 議（進行：内山会長）

##### （1）【案件1】弘前市食品ロス削減推進計画について

⇒【資料1】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

・目標設定は、年度目標を設けるなど、区切った方が取り組みやすい。

・目標設定は、食品ロスの割合ではなくて、重さで表示した方がわかりやすい。

→わかりやすく、取り組みやすい表示を検討する。

・市の特徴として未使用食品のうち、野菜と果物が占める割合が多いとあるが、他の自治体の傾向などは。

→県の組成分析調査によると、未使用食品のうち野菜と果物が占める割合は、県全体では4割程度であるが、青森・黒石の清掃工場で行った調査結果だけで見ると、約7割と市と同じような数値が出ているので、津軽地域の傾向として、農作物が直接廃棄される割合が高いものとする。

##### （2）【案件2】スーパー等における食品ロス削減啓発キャンペーンについて

⇒【資料2】について事務局から説明を行った。

#### 質問・意見等

- ・行政と一緒にやるのが、店側にも大きなメリットがあるようで、店側への働きかけが重要だと思うので、協力店を増やしてどんどんやって欲しい。
- 市民の皆さんに食品ロスを意識してもらっただけでなく、店側の意識も変わっていくという良い効果を実感できているため、積極的に継続していきたい。

#### (3) 【案件3】 イベント等におけるリユース食器の利用について

⇒ 【資料3】 について事務局から説明を行った。

#### 質問・意見等

- ・経費が大分違ってくるのではないか。
- 使い捨てプラスチックに比べると、どうしても導入経費がかかるものと認識している。

#### 4 課長挨拶

#### 5 閉 会 (進行：山内環境課長補佐)

#### ○資 料

- ・【資料1】 弘前市食品ロス削減推進計画について
- ・【資料2】 スーパー等における食品ロス削減啓発キャンペーンについて
- ・【資料3】 イベント等におけるリユース食器の利用について
- ・【別 添】 「弘前市食品ロス削減推進計画素案」

#### ○公開・非公開の区分 「公開」